



【しろがね特別支援学校のセンター的機能】

専門アドバイザーの仕事を紹介します



先日、小学校2年生のA君の相談を受けました。A君は友達が宿題をしていなかったり、掃除をさぼっていたりすると、友達を非難して教師に言いつけるため、友達とトラブルを起こすという内容でした。A君は自閉症スペクトラムの診断を受けている児童です。

授業を参観すると、クラス全体として友達を非難する様子や間違いを笑う雰囲気がありました。授業の始まりや終わりのあいさつでは、日直が姿勢の悪い友達や前を向いていない友達を注意し、プリントを集める場面では回収係が「早くしろよ」と注意をしながら自分の列の友達のプリントを集めていました。

A君は教師に褒められることをとても喜びます。日直や様々な係が、友達を注意することが仕事として黙認されるクラスでは、A君は張り切って、掃除を真面目にしていない友達や給食当番の準備が遅い友達をどんどん注意します。

本当にこれでよいのでしょうか。

別の日に、ある5年生のクラスを参観しました。B君は障害の診断はありませんが、失敗するとやる気がなくなってしまいます。

算数の時間に、挙手をして発表したB君の答えは間違っただけではありませんでしたが、もっとよい意見が友達から出たときに、イスから落ちてしまいました。担任はB君の行動の意味が分からず、「どうしたのですか」と質問していました。

すると、近くの友達が「B君、間違っちゃったのが悔しいんだって」とB君の気持ちを代弁してくれました。B君の行動の意味が分かった担任は「簡単な問題の時にはB君のやり方で良いんだよ」と言葉を掛けました。すると、周りの友達も「なかなか良い意見だったよ」「いろいろな意見が出て、今日の算数、面白かったじゃん」と次々と言っていました。

このクラスはB君にだけではありません。友達が失敗したり、落ち込んだりすると、自然と優しい言葉をかけ、担任が率先して、肯定的な言葉をかけています。

こんなクラスを目指しませんか。クラスのどのお子さんにとっても居心地の良いクラスは見えてもとても気持ちの良いものでした。

校内研修等での講演会の予定

6月11日	ケース会議	渋川市内中学校
6月17日	「自閉症スペクトラム児の指導について」	前橋市内小学校
6月24日	「通常学級に在籍する気になる子への 指導・支援について」	渋川市内小学校
7月22日	演題未定	前橋市内小学校
9月 3日	演題未定	前橋市保育士会
11月21日	演題未定	渋川市内小学校
1月20日	ケース会議	渋川市内小学校

相談依頼の件数（外部支援）4～6月の結果

対象	幼稚園 保育園	小学校	中学校	高等学校	その他	計
件数	77件	72件	11件	0件	3件	163件

（その他は関係機関からの相談および研修の講師依頼）

日頃から、本校のセンター的機能の御理解と御協力をありがとうございます。
障害の有無にかかわらず、子どもの実態把握・指導内容・指導方法について
悩んでいることがありましたら、お気軽に御相談ください。お待ちしております。



群馬県立しrogane特別支援学校
担 当：専門アドバイザー 尾岸 純子
電 話：027-268-6111
FAX：027-268-6113
メール： shirogane-snes01@edu-g.gsn.ed.jp